

溶媒脱水にも役立つ アルコール脱水膜プロセスの 開発と応用

主催：分離技術会

協賛：日本膜学会・化学工学会分離プロセス部会

日時：2018年8月31日（金）10:00～17:10

場所：東洋大学白山キャンパス 6号館 2階 6216教室

三田線「白山」駅、南北線「本駒込」駅から徒歩5分

三田線「千石」駅から徒歩7分、千代田線「千駄木」駅から徒歩15分など

案内図 <http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>

定員：50名（先着順）

有機溶媒の脱水・濃縮の中でも、アルコール脱水は膜により連続処理するプロセスが実用化されています。このプロセスは、これから他の溶媒や石油等々からの脱水膜プロセスを実用化するためのモデルケースとしても、また新たに水・アルコール分離膜を開発・参入する上でも大量の知を内包しており、俯瞰的に学ぶことに意義があります。

本講演会においては、蒸留代替プロセスとしての膜プロセスに対して、世界ではどのような取り組みがなされているのかの俯瞰的な視点を皮切りに、アルコール脱水膜プロセスにおいて、「プロセス側」からと「膜材料開発側（無機・有機・炭素膜）」の双方の視点のみならず、これに両者を結ぶプロセスシミュレータからの視点を含め、溶媒脱水プロセス全体を俯瞰します。また、膜材料の開発に関して、分離活性層を支え、機能を損なわないために必要不可欠な「支持体」の開発状況を紹介いただきます。

本講演会の企画立案には山形大学の松田先生・早稲田大学の松方先生・芝浦工業大学の野村先生等、多数の方のご指導をいただいております。

■ 時間は予定で、変更の可能性がございます

10:00—11:00 「溶剤脱水用ゼオライト分離膜の開発の現状と課題」

（早稲田大学）松方 正彦 氏

11:00—12:00 「膜分離を用いた分離プロセスの省エネルギー化」

（産業技術総合研究所）山木 雄大 氏

— 昼食（12:00—13:00） —

13:00—14:00 「膜分離を用いた分離プロセスの省エネルギー化（仮題）」

（三菱ケミカルエンジニアリング株式会社）山崎 幸一 氏

- 14:00—15:00 「**分離膜用セラミック支持体の開発**」
 (株式会社ノリタケカンパニーリミテド) **渡邊 裕和 氏**
 — 休憩 (15:00—15:10) —
- 15:10—16:10 「**NOK 株式会社における炭素膜開発について**」
 (NOK 株式会社) **山本 浩和 氏**
- 16:10—17:10 「**ポリイミド膜による有機蒸気の脱水 (仮題)**」
 (宇部興産株式会社) **谷原 望 氏**

□ **参加費**：維持・特別・正会員・協賛会員：18,000 円，学生：5,000 円，会員外：28,000 円，同時入会 23,000 円 (学生を除き、書籍「ガス分離膜プロセスの基礎と応用」を贈呈)。なお、参加費は郵便振替または下記銀行に全農にてお振り込みください。

郵便振替：00100-9-21052 講座名：分離技術会

みずほ銀行 神田支店 普通預金 1010899 口座名：分離技術会

□ **申込先**：参加ご希望の方は必要事項をご記入の上、下記事務局まで FAX にてお申し込みください。E-mail でお申し込みの場合は、以下の必要事項を入力の上、「講演会参加申込：溶媒脱水にも役に立つアルコール脱水膜プロセスの現状と開発状況」と題して送信してください。

申し込み締切日：2018 年 8 月 24 日 (金)。ただし、締め切り日前に定員に達した場合はその時点で締め切らせていただきますのでご了承の程、お願い致します。

「溶媒脱水にも役に立つアルコール脱水膜プロセスの現状と開発状況」講演会参加申込書

フリガナ 氏名			
勤務先			
所属			
所在地	〒		
	TEL _____		FAX _____
	e-mail _____		
送金内訳	郵便振替	銀行振込	請求書 要・不要
会員資格	(正・維持・特別会員)・学生・協賛団体会員・同時入会・会員外		

〒214-0034 川崎区多摩区三田 1-12-5-135 分離技術会 事務局 TEL 044-935-2578

FAX 044-935-2571 e-mail : jim@sspej.gr.jp http://www.sspej.gr.jp/